

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンバー浦安		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～ 令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～ 令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動に特化したプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで「できた」を沢山体験できる機会の提供。 ・スタッフ全員がプログラムを考える為、様々な方法でのアプローチによる運動指導が可能。 ・ソフト跳び箱、跳び箱、鉄棒、エアーマット、縄跳びなど器具が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きスモールステップで「できた」を沢山体験できる機会の提供。 ・引き続きプログラムの振り返りを行う。 ・引き続き、研修を定期的に行う。 ・新しい器具の購入。 ・他事業所のプログラムの見学。
2	毎日実施する集団プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・集団でプログラムを行うことで他者と関わる機会の提供。 ・他者と関わることで他者の気持ちや考えを知る切っ掛け作りを行う(チームプレイなど)。 ・いろんな年齢層と関わる機会の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きプログラムに他者と関わる機会の提供。 ・引き続き他者とのトラブル時にしっかり時間をとりスタッフと一緒に考える時間の提供。 ・スモールステップで行うことで「できた」を沢山体験することで他者との関わりに自信に繋げる。
3	イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・雪あそび、VRアトラクション、まつりなどイベントを定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きイベント前の下見を行い、安全にイベントが行えるよう努める。 ・引き続きイベント終了後、振り返りを行い、次回に活かせるように努める。 ・イベントを通して他者との関わりをサポート。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所を利用している保護者同士が繋がる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の繋がる機会がほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどで保護者も参加できるものを企画し保護者同士が関われる機会の提供を行う。
2	専門職資格保持者が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職からのフィードバックを受けたり、直ぐに相談することができない環境。 ・いろんな専門職からの視点や考えを共有する機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング会議時などに専門職のスタッフに質問や相談を積極的に行う。
3	他事業所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所で行っている支援の方法の把握することが難しい。 ・他事業所との連携が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時などに他事業所の支援など、気になることを積極的に質問する。 ・自事業所で困っているなど、相談して他事業所の意見を聞く。